



日本共産党 荒川区議会議員

Japanese Communist Party

横山幸次 区政通信

E-mail:kouji.office@gmail.com

824 2022年2月27日
日本共産党荒川区議会議員団
区役所控室 3802-4627
横山事務所 &fax
3805-0504
荒川区町屋5-3-5

定例法律相談
3月7日(月)
18時~20時
横山区議事務所
お気軽にご相談を

横山幸次の
議会報告2

来年度 高齢者の補聴器購入助成が実現へ
議会論戦と区民の声が区政を動かす...

Table with 4 columns: District, Amount, Age, and Eligibility criteria for hearing aid subsidies.

Table with 4 columns: District, Amount, Age, and Eligibility criteria for hearing aid subsidies.

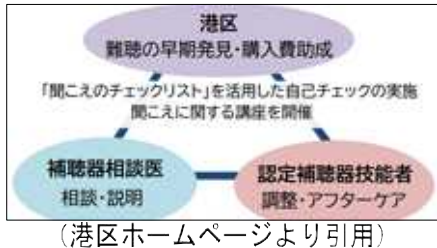
日本共産党区議団は、高齢者の補聴器購入助成の実現を強く求めてきました。2月会議の本会議でも重ねて質問をしました。加齢による難聴と認知症との関係についての調査や研究も進み、今年度の厚労省の委託研究でも、難聴が認知機能低下の原因の一つになっていることが明らかになりました。区は「長く快適に補聴器をご使用いただける支援体制構築に向け、様々な観点から検討を重ねてきた。補助

聴器使用の必要性の診断や認定補聴器専門店の紹介など医師の関与や、荒川たんぽぽセンターの聞こえに関する相談との連携などを勘案し、令和4年度から準備が整い次第、事業を開始する予定」と答弁。来年度には、実施することを明言しました。港区では4月から助成額が上限13万7千円という画期的な助成制度が始まります(左囲み参照)。ぜひ荒川区でも、多くの方に言われる、使いやすい制度を作って欲しいと思います。

港区が来年度から実施する補助は...
所得制限なし、60歳以上、上限13万7千円

Information box detailing the subsidy conditions:対象 (Eligibility), 助成額 (Subsidy amount), and application details.

港区も来年度から高齢者への補聴器助成を実施すると発表。その内容は、「港区モデル」と言われる画期的なものです。60歳以上、所得制限なし、上限13万7千円というもの。その上で区と補聴器相談医、補聴器技能者が連携して早期発見と助成につなぐとしています。



「町屋さくら」のバス停に立って考えました
区にはこのバス停で待つ方の姿が見えない?
荒川区は、「コミュニティバス町屋さくら」の存続を頑なに拒否しています。要するに「補助金は出さない」方針を変えないという態度が根底にあります。その際、私の耳に残り許せないと思うのは、「一部の利用者のために補助金は出せない」という言い分です。しかしこのバスを使わないと通院、買い物も行けず、友人と会う機会も奪われる方、月1回いやや数ヶ月に1回の利用でも必要とされている方の姿を思うことが区の仕事です。私は、荒川区が



福祉の心をしっかりと持つことを求めています。横山幸次

スポーツ・アクト21を活用して
都のPCR等無料検査を実施

2月25日(金)から区の施設を使って無料PCR検査を行うことになりました。
検査場所
・荒川総合スポーツセンター 4階クラブ室
9:00~12:00、13:00~17:00 (3月まで無休)
・男女平等推進センターアクト21 1階創作室
9:00~12:00、13:00~17:00 (3/8、3/13以外3月まで無休)
対象者と実施期間
無症状で、飲食、イベント、旅行・帰省等の経済社会活動をを行うに当たり検査が必要な方
【2月25日(金)から3月31日(木)まで】
無症状で、感染不安がある都内在住の方
【2月25日(金)から3月6日(日)まで】
実施期間は、都の事業実施期間等に合わせ延長の場合あり
受けられる検査・PCR検査(唾液) 抗原定性検査(鼻腔拭い液)
1日当たりの検査可能数・300件/日x2か所=600件/日
申込み、検査の流れ
・木下グループのホームページから事前にWEBで予約
・予約日時に検査場所に本人が行き検体採取
・予約時に登録したメールアドレスに検査結果が届く
感染の疑いがあった場合は、かかりつけ医等に相談、受診(その他の区内無料検査会場や対象外の有料検査など裏面)



区議会…トピックス

2月会議、予算特別委員会も始まりまし
た。みなさんから寄せられた声を区政に届
け実現のために力を尽くします。ご意見ご
要望などお寄せください。

18歳まで子ども医療費無料の新年度実施求める 区は「可能な限り早期実施」を表明

日本共産党区議団は、子ども医療費無料を18歳まで拡大することを求める質問や条例提案を繰り返し行ってきました。

この2月会議で横山区議は、子どもと子育て世帯への支援を行うべきとして「東京都も来年度から子ども医療費の無料化対象年齢を18歳までに引き上げるとしています。子ども医療費無料化の18歳までの引き上げは、都制度実施を待たず、



来年度から区独自で実施」するよう求めました。

区は、「他区の動向も注視し、可能な限り早期実施に努める」と前向きな答弁を行いました。

これまで日本共産党区議団の積極的提案が区民の声とも結んだ結果だと思えます。この立場で引き続きがんばります。



高齢者・障害者施設の クラスター対策を

高齢者・障害者施設では集団感染がつついており、定期的な検査やリスクの高い方の重症化予防に、早期の接種が大切です。

いざという時の介護職員の派遣支援やひっ迫する医療体制の確立が問われています。

| | | |
|-----------------------|------|-----------------------|
| 荒川生活実習所 (障害者施設) | 計20名 | (利用者12名・職員6名・委託事業者2名) |
| けんちの苑 (高齢者施設) | 計30名 | (利用者26名・職員4名) |
| すこや家・西尾久 (有料老人ホーム) | 計43名 | (利用者25名・職員18名) |
| グリーンハイム荒川 (特養ホーム) | 計17名 | (利用者12名・職員5名) |

女性の家事・育児時間は… 男性の5.5倍、先進国は1.9倍

日本女性の家事・育児時間は、男性の5.5倍という異常な長時間となっています。男性は、先進国平均の3分の1しかやっていません。

なぜこうなっているのか？
そもそも日本男性の労働時間が長すぎるのが一つの要因。先進国平均より2時間20分も長いのです。

同時に、「家事や育児は女性の仕事」という日本社会の古い考え方も要因です。

ジェンダー平等は、日本社会の「男女役割分担」という壁をなくすたかいたいともあると思います。



「生理用品」を区立中学校トイレに常備

日本共産党区議団は、コロナ禍で顕在化した「#生理の貧困」問題を議会でも繰り返し取り上げてきました。

昨年6月区議会で、日本共産党の北村あや子区議がこの問題を取り上げ「保護者の認識不足、ネグレクト、貧困など様々な理由で生理用品を買っても

ならない子どもたちがいます。学校に生理用品があれば助かる子どもたちがいます。」と

1月からは区内中学校全校でトイレに設置されました。

その後、昨年12月に第四中学校会派からも同様の質問がありました。

その後、(保健室に準備)からモデル的に各トイレに常備する形に変えました。



《コロナ関連情報コーナー》 薬局での都のPCR等無料検査…予約不要

都が薬局などに委託している、予約不要の無料検査は4か所にふえています。当初、ウエルシア薬局1か所でしたが、検査数が限られ「行っても受けられない」

| 場所 | 検査の種類 | 受付 |
|--|--------|-----------------------------------|
| ウエルシア薬局 三ノ輪橋駅前店 (南千住1丁目) | PCR・抗原 | 月～土 9～19時 |
| くすりの福太郎 南千住調剤薬局 (南千住4丁目B1内) | PCR | 月～水・土 9～19時 (土13時まで) |
| ぼっば薬局 (西日暮里2丁目) | 抗原 | 月～金 9～13時半・15～19時 土日 9～13時半 |
| PCR検査センター東京ラガ コロナバスター西尾久店 (西尾久7丁目) | PCR | 月～金 10～18時 |

という声が多く寄せられていました。インターネット予約は高齢者などは利用しづらく、予約体制の検討や検査期間の延長など、希望する方が検査を受けられるように抜本改善が必要です。

集団接種・モデルな会場増設、ファイザーは1ヶ所に

| ワクチン名 | 会場 | 2月 | 3月 |
|------------------|-----------------------|----|---------|
| ファイザー (2 1か所) | サンパール荒川(荒川1) | | 実施 |
| | 尾久ふれあい館(西尾久2) | 実施 | 閉鎖 |
| モデルナ (2 4か所) | 日暮里ラングウッド (東日暮里5) | | 実施 |
| | 町屋ふれあい館(町屋1) | | 実施 |
| | 令和あらかわクリニック (西尾久2) | - | 3/3(木)~ |
| | 荒川さつき会館(荒川8) | - | 3/7(月)~ |

区は、ファイザー製ワクチンを使用する集団接種会場について「今後の

供給が限定的である」として、尾久ふれあい館を2月いっぱい閉鎖し、3月からはサンパール荒川の1か所のみとなります。

また、モデルナ製ワクチンを使用する会場については、3月から女子医大移転後の新病院(令和あらかわクリニック)と荒川さつき会館の2か所をふやし、計4か所にします。